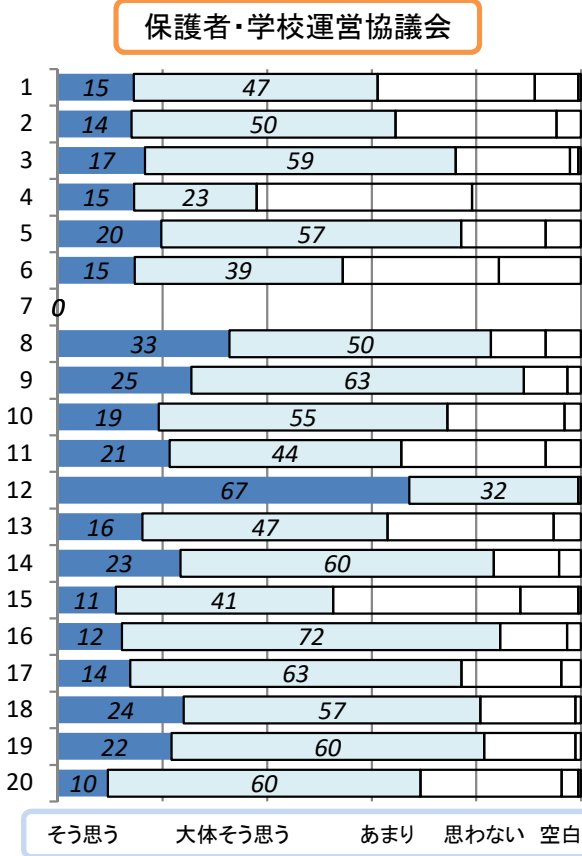
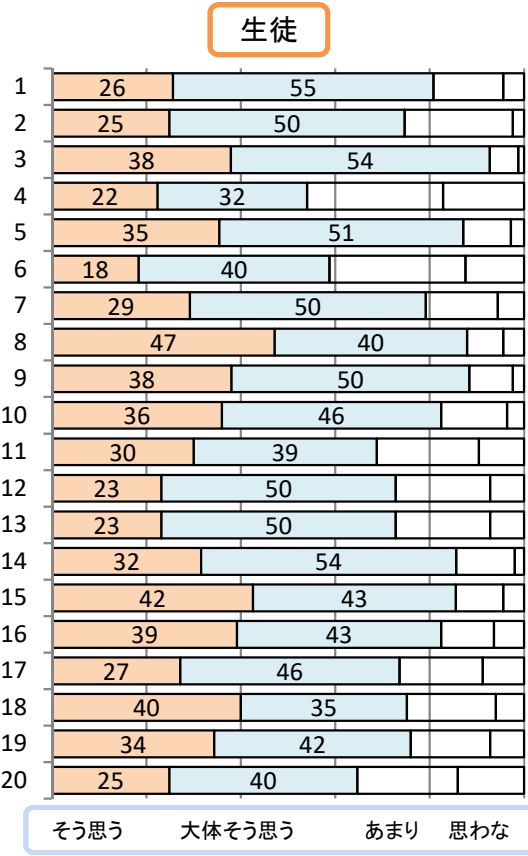


○目指す子ども像(ブロック共通) 夢の実現に向けて、共に楽しく学び、たくましく伸びていく子の育成
重点目標(児童生徒の共通する課題より) (1)コミュニケーション能力を育成するための“言語活動の充実”～聞き取る・読み取る・伝え合う～ (2) 自己有用感や自己肯定感を獲得させることにより、自尊感情を高める。
○洛西中学校めざす生徒像 ・「学ぶ楽しさ」と「わかる喜び」を実感し、夢や希望に向けて主体的に学習に取り組む生徒〈知〉 ・自分や仲間の良さや違いを認め尊重し、支え高め合える生徒〈徳〉 ・命を大切にし、健康で安全な生活を心がけ、明るく生き活きと生活できる生徒〈体〉

※単位は%

質問項目	
確かな学力	① 学校の勉強はわかりますか
	② 自分の意見や考えを話すことができていますか
	③ 人の意見や考えをしっかりと聞くことができていますか
	④ 進んで本を読むことができていますか
	⑤ 毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができていますか
	⑥ 毎日、家庭学習をすることができていますか
	⑦ 授業や学校生活の中でがんばったことを先生はほめてくれますか
豊かな心・健やかな体	⑧ 学校に楽しく通うことができていますか
	⑨ 学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか
	⑩ 地域の人、先生たち、友だちに進んであいさつができていますか
	⑪ 規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)ができていますか
	⑫ 自分にはよいところがあると思いますか
	⑬ 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか
	⑭ 学校のきまりや約束を守ることができていますか
	⑮ 自分から進んでそうじや係活動, 委員の人は委員会活動ができていますか
学校・家庭・地域との連携	⑯ 学校からのプリントをお家の人に見せていますか
	⑰ わからないことや困っていることを先生に相談することができていますか
	⑱ お家の人に学校でのできごとを話していますか
	⑲ お家の人や地域の人からほめられることがありますか
	⑳ 地域の人との交流(洛フェスや学区民運動会等の行事)を楽しみにしていますか



	そう思う		大体そう思う		あまり		思わない		空白	
	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人
①	26	15	55	47	15	30	4	8	0	1
②	25	14	50	50	23	31	2	5	0	0
③	38	17	54	59	6	22	1	2	0	1
④	22	15	32	23	29	41	17	21	0	0
⑤	35	20	51	57	10	16	3	7	0	0
⑥	18	15	40	39	29	30	12	16	0	0
⑦	29	0	50	0	15	0	6	0	0	0
⑧	47	33	40	50	8	10	4	7	0	0
⑨	38	25	50	63	9	8	2	3	0	0
⑩	36	19	46	55	14	22	4	3	0	0
⑪	30	21	39	44	22	27	10	7	0	0
⑫	23	67	50	32	20	1	7	0	0	0
⑬	23	16	50	47	20	32	7	5	0	0
⑭	32	23	54	60	12	12	2	4	0	0
⑮	42	11	43	41	10	35	4	11	0	1
⑯	39	12	43	72	11	13	6	3	0	0
⑰	27	14	46	63	18	19	9	4	0	0
⑱	40	24	35	57	19	18	6	1	0	0
⑲	34	22	42	60	17	17	7	1	0	0
⑳	25	10	40	60	21	27	14	3	0	1

「確かな学力」 (アンケート番号①～⑦)

各学年の学習確認プログラムの結果については、全市平均と比べ厳しい状況でした。1年生については、教科によって全市平均を上回ることもありましたが、同じ教科の校内定期テストの結果は芳しくないなど、学力面の伸長、授業改善の取組推進が引き続き必要です。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

アンケート④「読書」⑥「家庭学習」の項目については、前期アンケート同様、生徒、保護者とも低い結果です。特に読書ができていないという大人の回答の割合が、前期よりも30ポイント増えています。前期と後期でアンケートの回収方法を変更し回答率が上がった(37.4%→66.5%)但也有ありますが、学校では朝読書に取り組んでいるものの、家で本を読んでいる生徒は少ないようです。また、アンケート①「学校の勉強がわかる」という生徒は8割を越えています、保護者の結果は6割を越える程度で、学力面の課題には引き続き取り組む必要があると考えます。

② 表現力の向上

アンケート③「人の意見や考えを聞くことができる」と回答した生徒は9割を越え、落ち着いて学習に臨む生徒が増えています。アンケート②「自分の意見や考えを話すことができる」と回答した生徒は前期より6ポイント増えましたが、全体のおよそ75%程度と決して多いとは言えないことから、更に学習意欲を高めることに力点を置き、指導を継続していきたいと考えています。また基礎基本の習得と共に、他者との関わりの中で、より深い学びに向かう授業の展開を創造する必要があると考えます。

「豊かな心・健やかな体」 (アンケート番号⑧～⑮)

アンケートの結果より、概ね肯定的な意見ですが、項目ごとに見ると、課題が見られる部分があります。

① 基本的生活習慣の確立

前期と同様、アンケート⑪「規則正しい生活」について、約3割の生徒・保護者が「できていない」と答えています。始業時間から大幅に遅れて登校する生徒が少なくなく、生徒はもちろん家庭への働きかけの継続が必要だと感じています。

② 豊かな心の育成

アンケート⑧「学校は楽しい」、⑨「学校で先生や友だちから大切にされている」に肯定的な生徒は前期同様9割近くいます。今年度、多くの生徒たちは落ち着いた学校生活を送っています。一方、アンケート⑫「自分のよいところがある」については、ここ数年よりは若干高めであるものの、今回も75%程度と低い結果でした。ただ保護者は、子どもによいところがあるとされている方が99%あり、生徒に自信を持たせることが大切だと思います。後期アンケートは12月の実施で、学校祭やチャレンジ体験、福祉体験等、主な行事の取組後に行っています。前期アンケートで同じような結果だったことから、生徒の心の内を揺さぶり、目標に向かって努力し続けたり、仲間と協力してやり遂げる成就感を味あわせることで、自尊感情を高め、将来の自らの夢に向かって歩き続ける生徒の育成を図る教育活動を、さらに推進したいと考えています。

「学校・家庭・地域との連携」 (アンケート番号⑯～⑳)

思春期の真只中にある生徒と学校・家庭・地域の大人との繋がりをより確かなものとする中で、生徒たちの健やかな育みを伸長することが大切です。

① 学校と家庭との連携

アンケート⑰「先生に相談できる」は、生徒は前期より8ポイント上がりましたが、保護者は9ポイント下がりました。普段から子どもたちとの関わりをきめ細やかなものにしていく取組を継続するとともに、学校と家庭との繋がりをより確かなものとしていく必要があります。

② 開かれた学校づくり

アンケート⑳「地域の人との交流を楽しみにしている」については、65%と高い数字とは言えないものの、前期と比べると生徒の肯定的な回答は4ポイント上がりました。夏休みから秋にかけて行われた、夏祭りや学区民運動会、洛フェス等に本校生も参加し楽しむ姿が見られました。生徒自身が社会と繋がり、社会に貢献する大人となっていくためには、生徒自身が身の回りの大人たちに支えられている、大人たちと繋がっている、関わりがあるといった実感を得られることが大切であり、これからもぜひ続けていただきたい取組です。